8月
平成30年 8月1日

那覇市ボランティア・市民活動センター情報

[発行]社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会 TEL.098-857-7766 FAX.098-857-6052
〒901-0155 那覇市金城3-5-4 〈E-mail〉info@nahasyakyo.org 〈URL〉http://www.nahasyakyo.org

QRコードで市社協情報をゲット!!

ボランティアセンターだより

きっかけは自治会の回覧板!三線ボランティア・比嘉さん

比嘉里奈さんは、3年前から高齢者施設で三線演奏のボランティアをしています。お子さんが小学校に入学し、時間に少し余裕ができた頃に、たまたま自治会の回覧板で“ボランティア市民活動センター情報”のボランティア募集の記事を見たことがきっかけでした。「自分も誰かのために何かしたい」と思い立ち、ボランティアセンターへ問い合わせました。三線を習っていたこともあり、三線演奏ボランティアとして活動をスタート!以来、週1回、30分～40分程度の時間、高齢者施設で活動しています。

「音楽を聴くことで、笑顔になるのがうれしい!」と話す比嘉さん。「施設利用者には、認知症の方や車椅子利用者もいます。三線を弾くと、自然と体が動いて踊ったり、笑顔になって聞いてくれることがやりがいに繋がっています。また私の演奏を聴いて“ミミグスイ(耳の薬)”と言われた時は嬉しかったです。」と比嘉さん自身も楽しんで活動しているようです。(ボランティア担当・高橋)

こども食堂「瑠都(ルーツ)」OPEN♪

多くの観光客で賑わう首里城下町に、**こども食堂「瑠都(ルーツ)」がOPENしました!**音楽を通した居場所づくりが特徴で、歌や楽器の音色に触れながら美味しいカレーライスを食べた子ども達は、はじける笑顔をたくさん見せてくれました。照れながらドラムを叩く子や紙芝居の読み聞かせに夢中になる子など、この居場所が将来の夢を持つきっかけとなってくれたら嬉しいですね。

子ども達の笑顔を見ていると大人も元気になります。子は地域の宝です。思いやりの心と優しさの輪が地域全体に広がっていくことを願っています。

子ども達を温かく迎えてくださった関係者の方々と首里第二民生委員児童委員の皆様と共に、**「地域の子は地域で育てよう」**を合言葉に、那覇市社協もお手伝い頑張ります!(首里地区コーディネーター・仲程)

社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会

インフォメーション

生活支援サポーター　第4回那覇市生活支援サポーター養成講座を実施しました！

生活支援サポーターは、那覇市内の高齢者宅を定期的に訪問し、家事援助のボランティア活動を行っています。その活動に協力していただくサポーターの養成講座を6/15(金)に開催し、新たに13名の修了者がサポーター登録してくださいました。**次回の養成講座は10月開催を予定しています。**高齢者の家事援助ボランティアに興味のある方は、那覇市社協までお気軽にお問合せください。(生活支援コーディネーター・神田)

ボランティア募集

☎098-857-7766

ボランティア活動希望の方は、ボランティアセンターへの登録と活動保険加入をお願いしております。

ボランティア担当：高橋

情報の見方　①活動内容　②日時　③場所　④駐車場　⑤人数　⑥条件　⑦備考

1.敬老会での余興ボランティア募集

平成30年9月15日(土)に開催予定の敬老会において、芸の披露を中心に余興してくださる方を探しています。団体・個人問いません!1組あたり5～10分程度の枠になります。日頃、芸を磨いている方、興味がある方、連絡お待ちしています!

①余興出演
②平成30年9月15日(土)13:30～15:30
③デイサービス 琉球の街 真嘉比(那覇市真嘉比1-21-21)
④あり　⑤最大6名 ※1組あたり
⑦飲み物・お菓子など準備しています。

2.付添い・案内ボランティア募集

平成30年10月6日(土)に開催予定の「第54回 沖縄県身体障害者スポーツ大会」において、那覇地区選手の誘導及び簡単な介助を担当職員と一緒にサポートしてくださる方を探しています。イベント好きな方やサポート経験がある方、興味がある方、連絡お待ちしています!

①付添い及び簡単な介助　②平成30年10月6日(土)8:30～17:00　③会場：糸満市西崎運動公園陸上競技場(集合：パレット久茂地前)　⑤10名　⑦1.募集依頼元：一般社団法人 那覇市身体障害者福祉協会
2.集合場所から会場までは当協会のバスで移動します。　3.弁当・飲み物(昼食時)ご用意します。
4.集合時間は7:30です。　5.問い合わせ先：098-885-9444(fax：098-885-0420)担当：伊波

ボランティアBOX 取組団体(7月受付団体)

1	沖縄県国際交流・人材育成財団
2	株式会社 国際重機
3	當間デイサービス
4	那覇市包括支援センター繁多川
5	リリーフ
6	首里第二民生委員児童委員協議会

平成30年6月16日～平成30年7月12日 ※順不同

※企業・団体様を対象に収集ボランティアの詳細説明もおこないます。
ご希望の際は、**857-7766(担当:高橋)**までお電話ください。
訪問日程など調整させていただきます。

お気軽にお問い合わせください。

那覇市ボランティア・市民活動センター
☎098-857-7766
〒901-0155 那覇市金城3丁目5番地の4
(那覇市総合福祉センター内)
E-mail 7766volu@nahasyakyo.org
FAX.098-857-6052

ボランティアアラカルト

笑いあり、歌いあり、涙ありのふれあいデー開催!

6/29(金)に、「金城こども園」において世代交流を目的に、小禄第三民生委員児童委員協議会と共同で『わらびんちゃーと、おじぃー・おばぁーのふれあいデー』が開催されました。

交流は、子ども達による歓迎の可愛い歌の披露から始まり、的当てゲームや、ガジュマルの葉を使った笛吹き体験など、盛りだくさんの内容でした。いっぱい遊んだ後は、一緒にお食事タイム♪みんなで楽しく給食をいただきました。参加された方からは「にぎやかな食卓は久しぶりで、とってもおいしい。」と声が聞かれ、お腹も心も満たされました。最後は、おばぁー達からお礼に昔の歌をプレゼント。

帰り際には、別れを惜しみ抱き合う姿も見られ、とても素敵な一時でした。(小禄地区コーディネーター・石垣)

子どもと地域をつなぐ
サポートセンター糸

子どもの居場所と自立支援員…連携の大切さ改めて確認!!

地域の子ども達のために、日々奮闘している居場所代表及びスタッフが一堂に会し、お互いの情報意見交換をする場として定例化した子どもの居場所代表者連絡会。6/28(木)に、沖縄大学アネックス共創館で今年度の1回目の連絡会を開催しました。今回の連絡会は、子ども・児童自立支援員さんとの交流を図り、望ましい連携の在り方について共通認識を深めることができ、有意義な意見交換の場となりました。(「糸」城間)

プロ野球初観戦に子ども達は大喜び!!

6/20(水)に、琉球放送株式会社より、那覇市の「子どもの居場所」へ6/26・27の日本ハムファイターズ対福岡ソフトバンクホークスのプロ野球観戦チケット計100枚を寄贈いただきました。

ビッグプレゼントに子ども達は大喜び!「初めてセルラー球場でのプロ野球選手のプレーに子ども達は大興奮でしたよ～♪」と、居場所代表者から感謝の声が続々と寄せられました。貴重な機会を与えて下さり、誠にありがとうございました。(「糸」城間)

県庁内福祉部長室にて、贈呈式の様子▶

石嶺中学校1学年「福祉体験学習」

6/22(金)と6/29(金)の2日間に分けて福祉体験学習が実施されました。

障害者福祉と高齢者福祉の分野にて学生たちは体験と講話から新たな気づきを得られたとの声がありました。一年間の学習プログラムのほんの一部ですが、車いす・アイマスク・高齢者擬似体験がこれからの学びへの取り組みのきっかけになってくれたら幸いです。(ボランティア担当・高橋)

地区担当コーディネーター通信

地域をつなぐ 地区担当コーディネーターとは？

地域における支援を必要とする人々の生活圏において、制度の狭間にある要援護者等の見守り・発見、相談から必要なサービスへのつなぎなど等、セーフティネット機能の体制づくり、福祉関係機関や地域住民参画への福祉のまちづくりコーディネートを行います。

NO.64

素敵な活動紹介：沖縄サントリー株式会社

安謝にある沖縄サントリー株式会社では、毎朝9時から会社周辺の清掃活動を行っているとの話を聞き、先日取材に行ってきました!暑い日差しの中、あっという間に歩道を綺麗に清掃されていて、社員の方々の汗をかいた素敵な笑顔が印象的でした!

10年以上前から行われているこの活動は、地域の方々から地域の自慢できるところとして紹介していただきました。皆さんの周りでも、このような素敵な活動はありませんか?ぜひ私達に教えてください!情報をお待ちしています♪（那覇地区コーディネーター・保良）

『子ども食堂 七夕祭り』開催!!

7/7（土）の七夕の日に『子ども食堂 七夕祭り』が、那覇市包括支援センター松川で開催されました。これは、子ども食堂を運営している、にじの森文庫の伊志嶺さん、ほのぼのプロジェクトの東江さんが中心となり、松川地域で子どもからお年寄りまで一緒に楽しめる多世代交流のお祭りを企画したい、更に子ども食堂のことを地域の人に知ってもらおう!という目的で開催されました。地域包括支援センター松川、那覇市社協も協力し、当日は地域の福祉事業所や商店等からの出店も多く、大盛況となりました。

中でも、竹を使った本格的な流しそうめんや、やんばるおもちゃの森美術館の木育キャラバンでは子ども達が普段できない体験にはしゃいでいる様子がありました。また、クラウンあいろのバルーンアートショーが始まると、子ども達の笑い声が響き渡り、バルーン作品が完成すると「はい!はーい!」とバルーン欲しさに手を上げ大声でアピールしていました。

その後、こども認知症サポーター養成講座も開講され、約30名の子ども達が、認知症がどんな病気なのか等ゲームや紙芝居を使いながら楽しく学びました。

今後も地域が元気になる活動を一緒に考えていきたいと思っています。（真和志地区コーディネーター・垣花／「糸」城間）

「當間自治会地域見守り隊（認証第39号）」結成!!

6月21日（木）に、當間自治会にて市内39ヶ所目となる「地域見守り隊」が結成されました。ふれあいデイサービスに顔を見せない人に対して心配したことがきっかけで〝見守り〟を意識するようになった當間自治会。今回、自治会だけでなく、老人会である當間當寿会も一緒に活動していきます。この日のために、地図を広げて現状確認を行ったり、見守り方法を協議したりと、話し合いを重ね準備してきました。無理なく継続するため、まずは日常生活の中で互いに気にかけあいながら、集いの場に来なくなった人を中心に見守りを始めていきます。

式終了後には、お揃いのジャンパーを着て記念撮影をし、決意を新たにしました。誰もが安心して暮らせる地域づくりに向け、那覇市社協は、今後も見守り活動をサポートしていきます。（小禄地区コーディネーター・石垣）

り作成されています。

社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会